




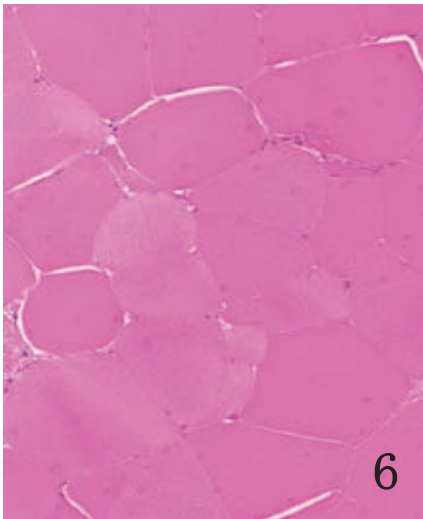
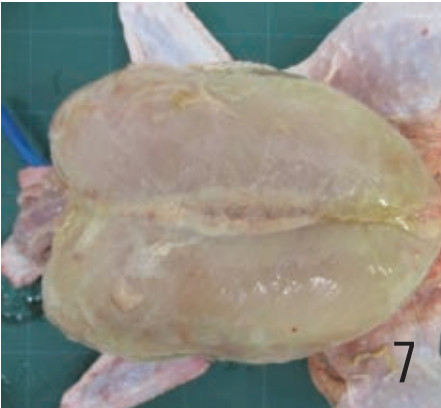
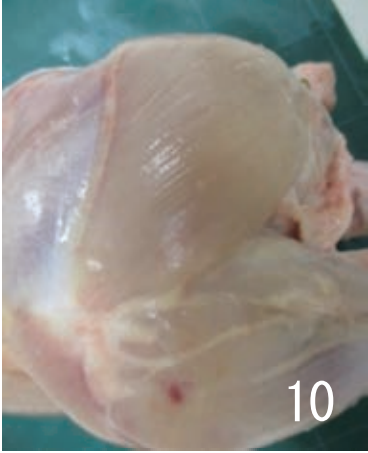



疾病 (異常)	<b>2 1 変 性 (筋肉の変性)</b>		
肉 眼 所 見	<p>1 暗赤色とたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉の全域は暗赤色化し、とたい全体は暗赤色調の強い外観を呈している。</li> <li>・筋肉の変化が部分的な場合、暗赤色部と灰白色部は筋線維の走行に一致して幅の広いスダレ状に交雑している。</li> <li>・いずれもとたいが乾燥ぎみで、暗赤色化した筋肉は硬度を増している。</li> </ul> <p>*骨格筋の暗赤色化は筋肉の高ミオグロビン含量に起因する。正常鶏の筋肉ミオグロビンはとさつ後の時間的経過に従い低下するが、長距離輸送や長時間断餌等のストレスを得た鶏では十分に低下しない。</p> <p>2 蒼白色とたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体表の筋肉が全般に白色となり、とたいは著しく蒼白な外観を呈している。</li> </ul>		
廃棄等の 措置の根拠	別表第10 (全部廃棄)		
			
外観は暗赤色を呈している。	剥皮すると、浅胸筋全域は暗赤色を呈している。	とたいは暗赤色部と灰白色部が交雑している。	
			
とたいは暗赤色部と灰白色部が交雑している。	体表の筋肉は全般に白色となり、とたいは著しく蒼白な外観を呈している。	暗赤色化した浅胸筋：ほぼ正常な組織像を示している。	

疾病 (異常)	<b>2 1 変 性 (筋肉の変性) つづき</b>		
肉 眼 所 見	<p>3 浅胸筋変性症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に発育良好な鶏に観察され、浅胸筋が発達している。</li> <li>・剥皮後、浅胸筋の退色、硬化、白色線条がみられ、しばしば筋上膜及び皮下組織の水腫を伴っている。肥厚した筋上膜は皮下組織と癒着し、ときに点状出血が認められる。</li> <li>・浅胸筋病変は頭側浅層から尾側深層へ進行し、重度例では深胸筋や大腿筋も退色、硬化している。</li> <li>・30日齢前後のとたいでも確認される。</li> </ul> <p>参考文献</p> <p>1 大津奈央, 他: ブロイラーの浅胸筋変性症の病理学的研究, 日獣会誌, 70: 357-362 (2017)</p> <p>2 村上覚史, 他: ブロイラー用あるいは採卵鶏用飼料で飼育したブロイラーにおける経時的浅胸筋病変の推移, 鶏病研報, 53, 226-231 (2018)</p>		
廃棄等の 措置の根拠	別表第10 (全部廃棄) 又は別表第11 (部分廃棄)		
			
<p>浅胸筋は退色、硬化、方形化して白色線条がみられる。筋上膜が水腫性に肥厚している。</p>	<p>浅胸筋の断面では退色、硬化する病変が同筋の頭側浅層(左)から尾側深層へ進行する。</p>	<p>浅胸筋は退色、硬化し、直方体の形状を呈し、白色線条がみられ、筋上膜は肥厚している。</p>	
			
<p>大腿二頭筋にも明瞭な白色線条がみられ、退色している。</p>	<p>34日齢鶏の浅胸筋でも白色線条病変が認められる。</p>	<p>浅胸筋: 筋線維の変性(硝子様、空胞、塊状崩壊)と再生像(矢頭)、筋線維間では線維芽細胞増生がみられる。</p>	